



エコアクション21

# 新たな環境マネジメントシステム

環境省が推奨する新たな環境マネジメントシステム『エコアクション21』が、今年4月から本格的にスタートした。『エコアクション21』は、中小事業者の環境への取り組みを促進するため、国際標準化機構のISO14001規格をベースに、中小事

業者でも容易に取り組みめるような環境経営ガイドラインを環境省が作成し、具体化した制度。エコアクション21の特徴や構成、メリットなどについて、同制度の審査人を務める平井一之氏に聞いた。  
(聞き手=報道部・長田勇生)



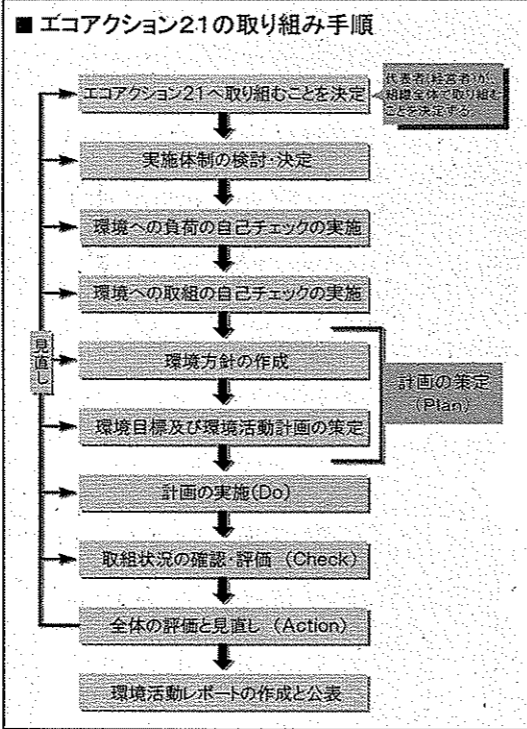
## 県環境資源協会 事務局長 平井 一之氏に聞く

# 「エコアクション21」スタート

### 中小事業者の環境への取り組み促進

#### 認知度アップが当面の課題

率的に行うシステムを構築 平井 ます、対象として取得企業は、全国で約1万にシステム構築を可能とし、運用・維持し、環境への主に中小企業を想定して8800者、県内でも800者以上あり、企業間取引目標を持ち、行動し、結果、E.M.S(環境マネジメント)を取りまとめ、評価し、公(ント)に対する要求をI.S.などでも有効に機能してお、表示する]方法として、環境O14001と比べ大幅に省が策定したガイドライン 簡略化し、要求事項の数も厳しい昨今の経済情勢が、認知的な運用を図ることが、運管は国の



■まず、同制度の概要についてお願ひします。平井 エコアクション21 は、中小企業などが『環境への取り組みを効果的・効率的に実施する』ことを目的として、ISO14001の認証

準的には10万円、30万円、コンサルト費用を加えても50万円程度です。ISO14001と比べると、5分の1程度といわれていますので、小規模企業にとっても取り組みやすい制度といえます。

平井 同制度は、「環境への自己チェックの手引き」「環境への取り組みの自己チェックの手引き」「環境経営システムガイドライン」「環境活動レポートガイドライン」の4つのパートで構成されています。それぞれの手引き等に沿って取り組みることにより、幅広い事業者が効果的に

取り組みを促進します。